

11月の果実の見通し

品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
りんご類	7,649	97	7,914	285	108	276	2,204	29	長野、山形、青森中心の出荷。早生、中生ともに生育前倒し気味であったが若干着色が足踏みしており、「ふじ」は平年並みかやや早い出荷になる。11月下旬現在、みかん・かきなど他品目の品薄もあって量販店などはりんご販売を強化しており、荷動きはそれほど良くないが、価格はしっかりしている。11月にかけても数量は多くなく、ギフト向け上位等級の引き合いが強く前年並みの堅調な価格が維持される見込み。
かき類	6,753	92	7,396	213	119	229	255	4	福岡、奈良、新潟中心の出荷。10月上旬から和歌山産「刀根早生」の出荷がピークとなったが、天候不良による着色遅れもみられ増量ペースは鈍かった。早めに量販体制にはいったこともあって荷動きは良く、中旬にかけても堅調な価格を維持した。甘がきは秋口の降雨により産地でのロスも多く数量が増えてこないが、「富有」の入荷が本格化してくれば増える見込み。りんごやみかんも多くないので、売り場の拡大が進んでいるかきの売れ行きは良いと予想される。
西洋なし	1,183	105	1,113	327	102	343	1,087	92	山形中心の入荷。今年は入荷量は前年を上回る可能性があるが、全般的に量が不足していることや、早生の品質良好であったことから、11月の「ラ・フランス」は前年を上回る価格になると見込まれる。
いちご類	855	98	680	1,595	105	1,614	2	0	栃木、福岡、静岡、佐賀中心に出荷。秋口の天候不良により、九州を中心に生育不良・定植遅れが散見されるが、各地ほぼ例年通りの出荷開始予定となっている。11月中旬には九州産「あまおう」「さがほのか」の入荷も始まり、下旬には数量もまとまる見込み。昨年のような生育前進による入荷量急増は、今年はないと予想される。価格はほぼ平年並みで推移し、量販店などでの販売が展開される下旬ころから動きもでてくる見込み。
ほしがき	98	110	93	1,688	96	1,673	0	0	山梨、富山、長野中心の出荷。昨年は暖冬により入荷量が不足したが、今年は今のところ順調と予想される。10月下旬には北海道から平地での降雪の情報ももたらされるなど、状況が昨年と反対なので、年内の出回りは順調と予想される。原料柿の不足の情報もなく、価格はやや安いと予想される。